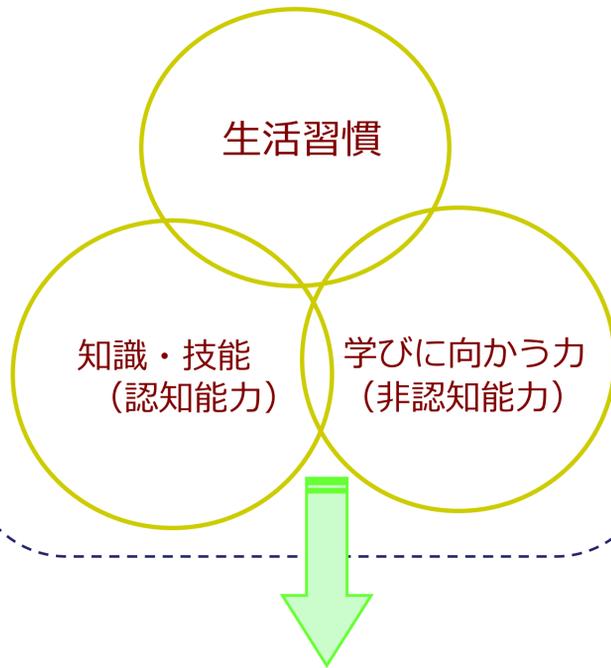


乳幼児期に身につけてほしい力



これらの力をつけられるように
こんな接し方をしてみては？

みる！



何に興味や関心を持っているかよくみよう！
そして子どもの良いところをみつけて伸ばす

認める！

- 全てを認める
「かわいい」「すき」「元気で嬉しい」
(存在自体を認める)
- 具体的に認める
「くつがはけたね」など
(今できたこと、頑張ったこと)



やり取りを大切に！



大人が決めつけず、
子どもが自分で、
選べるように

“機嫌の良い時に脳は育つ”

どんな良い環境を与えてもそれを、
受け入れる子どもの状態が良くないと
プラスに働かない
と言われています



自ら考え判断して行動でき、心豊かにたくましく生きる子ども

国立市では、すべての子どもたちが、将来の夢に向かって成長できる力を身につけてもらいたいと考えています。そのためには、学力(認知能力)だけではなく、粘り強くやりとげようとする力、友だちと協力しあいながらがんばることで得られる共感やコミュニケーション力(非認知能力)を身につけることが大切であるといわれています。

その基礎として、乳幼児期からの保護者や特定の大人との間にしっかりと愛着関係を築くことが大切です。乳幼児期に、こうした「非認知能力」をのばすことが、将来の社会的成功に結びつく大きな力を与えます。

市では、幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」をとおして、子育て・子育てを応援する取組をはじめます。

0歳から2歳の心と体の発達

0歳

～ゆったりとした満足感～

- ★よく食べ、よく眠り、十分に体を使ってあそぶ。
- ★大人との間に信頼関係が生まれ安心して過ごせる。

1歳

～自分で！自分で！
その子らしさをふくらませて～

- ★自分らしさを十分に発揮し夢中になってあそぶ。
- ★友だちと一緒に楽しいと感じる。

2歳

～みてみて！！～

- ★自分の気持ちを表現して伝えようとする。
- ★体を動かして、あそぶ楽しさを知る。
- ★新しい経験をたくさんしながら、あそびや生活をとおして新しい経験をたくさんしながら友だちを知る。
- ★身の回りのことを自分でしようとする。



いよいよ最後です
“その4”もお楽しみに！

発行 国立市幼児教育推進プロジェクト「ここすき！」
国立市子ども家庭部児童青少年課保育・幼稚園係
国立市富士見台2-38-5 TEL575-3224 中央児童館

監修 白梅学園大学 宮田まり子

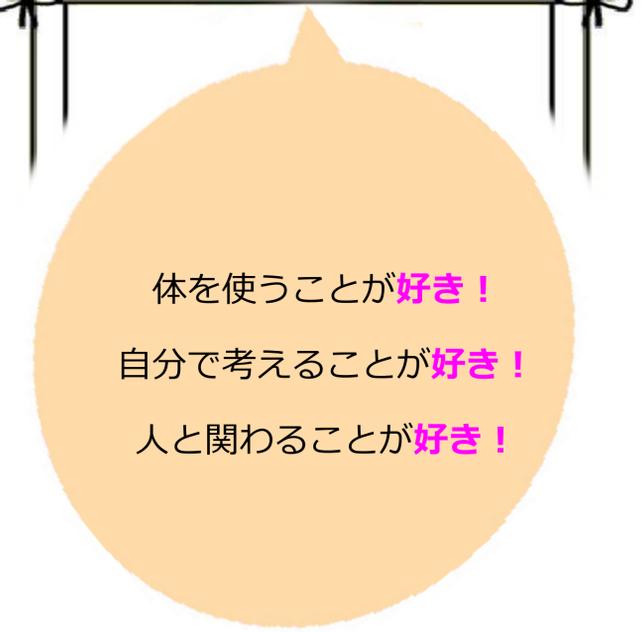
ここすき！

国立市幼児教育推進プロジェクト

「ここすき！」の“ここ”は、家庭、保育所・幼稚園の場など、家族、友だち、ひと、物といった子どもを取りまく環境をさします。自分のいる場、まわりの人や物をたくさん“好き”になってほしいと願い、「ここすき！」と名づけました。



こんな「好き」を
育てていけたら・・・



体を使うことが**好き**！
自分で考えることが**好き**！
人と関わることが**好き**！



子育て・子育て応援紙

0・1・2歳児の毎日 ～あそび～編

ドキドキ・わくわく、をたくさん経験しよう！
「はじめてやってみた」「これ、楽しい」「できた！うれしいな」
「おもしろい」「なんでこうなったのか」

自分が「やってみたい」と思うことをする。それが**主体的な活動**です。
いつも見守ってくれる人、心地よい場所が主体的な活動の拠点になります。
あそびは、成長していくための大切な役割を担っています。

好きなあそびに一人でじっくり取り組む



おもしろそう！

これ、なんだろう

自分の思いを伝える

主体的な活動って？



だ・る・ま・さん・が・・・



絵本から想像をふくらませて・・・

いっしょに



一緒にあそぶと楽しい！



はい、どうぞ！

一緒にいると安心

友だちの優しさにふれてやり取りが楽しくなる



ちょうだい！

ダメ！！

私も、やりたい！

いや！

友だちと関わりたい！



おんなじ！



おんなじ！